

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』

実施レポート

学校名	浜松市立横山小学校	実施日	平成26年2月～
担当教員名	大多和 庸子	実施学年・人数	5・6年 13人
学校・学級紹介	<p>・全校で28人の小規模校である。 山間地の学校で、地元には少年団が一つしかないため、なかなか多様な運動に触れる機会が少ない。 同学年の児童の数も少ないため、なかなか集団でのスポーツに取り組む機会にも恵まれていない。しかし、児童は身体を動かすのが好きで、休み時間や放課後には運動場でサッカーや鬼ごっこに興じる児童の姿が見られる。</p>		
実施内容	<p>・9月の体育祭には、タグを使った種目を披露した。 本校の体育祭は、学校だけでなく、地域と合同開催するため、多くの方にタグを紹介するよい機会となった。 また、幼稚園児とも交流しながら、タグとりなどのゲームも行った。 体育の授業では、高学年のみならず、全校の児童がタグラグビーのゲームを経験し、その面白さを体験した。</p>		
指導のポイント	<p>・簡単な鬼遊びから導入し、オフサイドやノックオン等のルールも最初からはとり入れず、ゲームを行っていった。 徐々にルールを加えていくことにより、タグラグビーのゲームに近づけていった。 男女差がなく、経験もなく、スタートが一緒のため、どの子も力いっぱい楽しく活動することができた。</p>		
感想・印象 今後の展望	<p>今後も、継続して取り組みながら、幼稚園等の遊びの中にも広げていきたいと考えている。 タグについては、3年間体育祭の中に取り入れてきたため、今後も発展させた形で紹介していきたい。</p>		